

アムンディ・ロシア東欧株ファンド

追加型投信／海外／株式

第16期

(決算日 2020年10月20日)

作成対象期間 (2019年10月22日～2020年10月20日)

第16期末 (2020年10月20日)	
基準価額	9,464円
純資産総額	3,640百万円
第16期	
騰落率	△14.2%
分配金 (税込み)	0円

(注) 騰落率は分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

●受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。

当ファンドは、「オーシャン・ファンド・エクイティーズ・イースタン・ヨーロッパ」への投資を通じて、主としてロシア・東欧諸国の企業、またはロシア・東欧諸国で事業展開を行う企業に投資し、長期的な信託財産の成長を目指します。なお、「Amundi Funds キャッシュ・ユーロ」への投資も行います。外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。

ここに運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。

【閲覧方法】

右記<お問い合わせ先>に記載されているホームページアドレスにアクセス⇒「ファンド情報」メニューから「ファンド・基準価額一覧」(当ファンドが償還した場合は「償還ファンド一覧」)をクリック⇒当該一覧から当ファンドのファンド名称をクリック⇒運用報告書(全体版)をクリック

※ホームページ掲載日より5年間は閲覧いただけます。

- 運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

アムンディ・ジャパン株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1丁目2番2号

<お問い合わせ先>

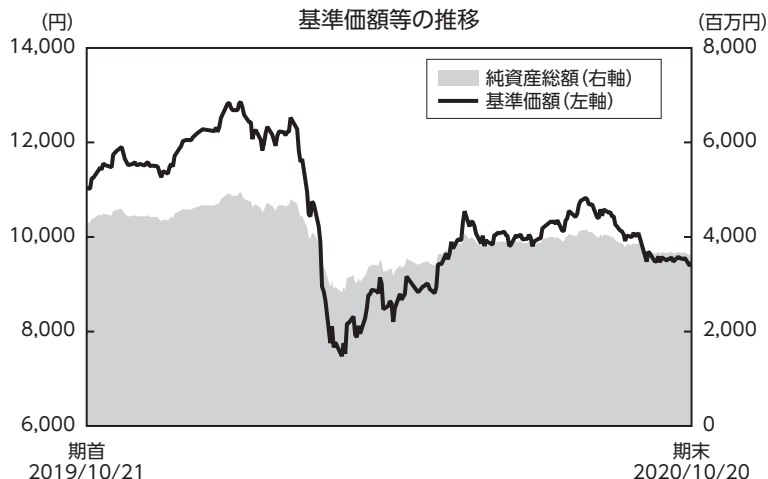
お客様サポートライン 0120-202-900 (フリーダイヤル)
受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで
ホームページアドレス: <https://www.amundi.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移

第16期首	11,028円
第16期末	9,464円
既払分配金 (税込み)	0円
騰落率	△14.2%

当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。



基準価額の主な変動要因

下落要因

- ① 2020年2月から3月にかけて、新型コロナウイルス感染拡大で世界の株式市場が急落したこと
- ② 2020年9月以降、欧米の経済成長見通しが下方修正されたことや、欧州で新型コロナウイルス感染が再拡大したこと

上昇要因

- ① 期初より2020年1月にかけて、米中貿易交渉の段階的進展や各国・地域の中央銀行が金融緩和を行ったこと
- ② 2020年5月から8月まで原油価格が上昇したこと

1 万口当たりの費用明細

項 目	第 16 期 (2019年10月22日 ～2020年10月20日)		項 目 の 概 要
	金額	比率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	102円 (12) (87) (4)	0.971% (0.110) (0.823) (0.038)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (印 刷 費 用) (そ の 他)	4 (0) (1) (3) (0)	0.040 (0.004) (0.010) (0.025) (0.001)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ファンドの法定開示資料の印刷に係る費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	106	1.011	

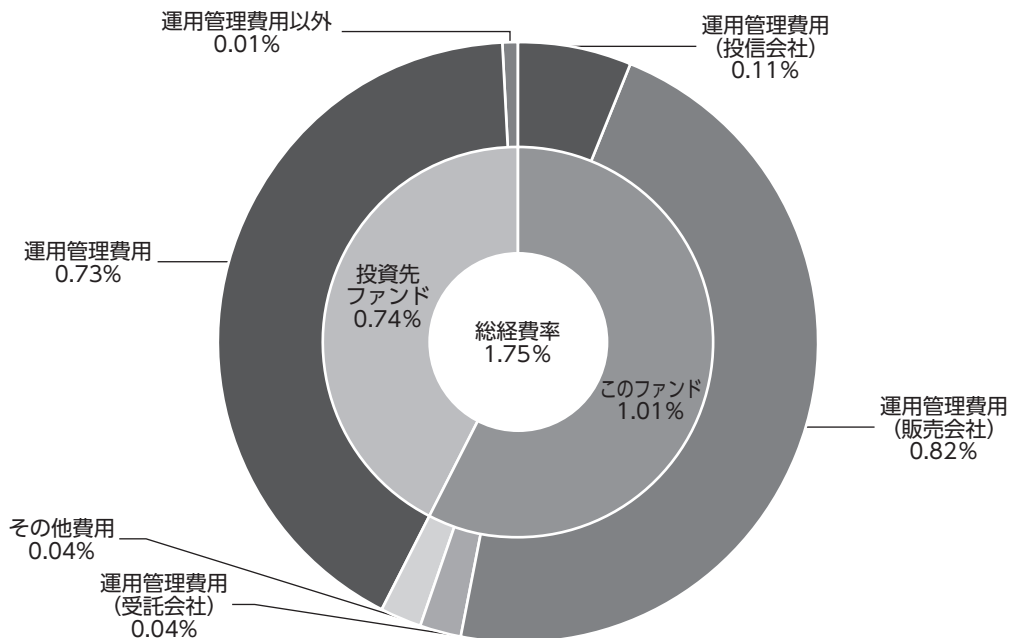
期中の平均基準価額は10,518円です。

- (注1) 費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。
(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.75%です。



総経費率 (①+②+③)	1.75%
①このファンドの費用の比率	1.01%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.73%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

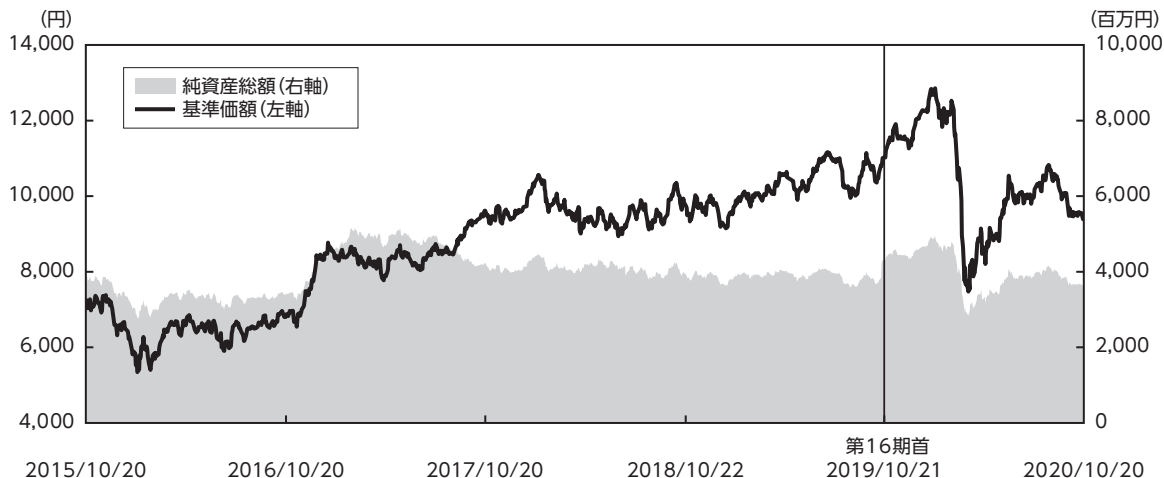
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注6) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2015年10月20日～2020年10月20日)



最近5年間の年間騰落率

	2015/10/20 期首	2016/10/20 決算日	2017/10/20 決算日	2018/10/22 決算日	2019/10/21 決算日	2020/10/20 決算日
基準価額 (円)	7,251	6,834	9,618	9,759	11,028	9,464
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	-5.8	40.7	1.5	13.0	-14.2
純資産総額 (百万円)	3,885	3,406	4,224	3,933	4,309	3,640

(注) 運用成果の目標基準となるベンチマークおよび運用方針に対し適切に比較できる参考指数はありません。

投資環境

<ロシア東欧株式市場>

当期のロシア東欧株式市場は下落しました。米中貿易協定の段階的進展や世界的な中央銀行の金融緩和策などから上昇して始まりましたが、2020年に入り、新型コロナウイルスの感染拡大によって投資家心理が悪化に転じ、あらゆる資産でリスク回避姿勢が強まり世界の株式市場が急落しました。その後は、金融、財政、バランスシートを通じた予想を上回る大規模な政策支援と、予想を上回る景気回復や原油価格の上昇などが追い風となり上昇しました。当期末にかけては、欧米での経済成長見通しの下方修正や、欧州での新型コロナウイルス感染再拡大、さらに11月の米国大統領選挙を控え、政治面での不透明感の高まりなどから下落しました。国別ではポーランド、ハンガリー、チェコそしてロシアの順にすべての国でマイナス（ユーロベース）となりました。

<為替市場>

当期中、すべての通貨が円に対して下落しました。2020年に入り、新型コロナウイルス感染拡大を受け急落した後一旦小反発しましたが、再び下落する展開となりました。

<欧州短期金融市場>

ECB（欧州中央銀行）は量的緩和を総動員する強力な金融緩和を維持しました。欧州の短期金融市場では、期を通じてマイナス金利が維持されました。

ポートフォリオ

<当ファンド>

当ファンドは、ルクセンブルク籍の投資信託証券「オーシャン・ファンド・エクイティーズ・イースターン・ヨーロッパ」と「Amundi Funds キャッシュ・ユーロ」に投資します。ロシア・東欧株式への実質的な投資は「オーシャン・ファンド・エクイティーズ・イースターン・ヨーロッパ」を通じて行い、その組入比率を高位に保ちました。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

<オーシャン・ファンド・エクイティーズ・イースタン・ヨーロッパ>

当ファンドは、国別配分効果、セクター配分効果、銘柄選定効果のすべてが奏功し、参考指数であるMSCI EM Eastern Europe 10/40インデックスを上回りました。国別配分では、ポーランドのアンダーウェイトとロシアのオーバーウェイトがプラス寄与し、セクター配分では、ポーランドとロシアのコミュニケーション・サービスがプラス寄与する一方で、ロシアの素材のアンダーウェイトとハンガリーのヘルスケアのアンダーウェイトがマイナス寄与しました。銘柄選定では、ポーランドのテン・スクエア・ゲーム、ロシアのヤンデックス、システマやメール・ルーなどがプラス寄与しました。

(アムンディ・アセットマネジメント)

<Amundi Funds キャッシュ・ユーロ>

主としてユーロ建の短期金融商品等に投資し、運用資産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目標として運用を行いました。

(アムンディ・アセットマネジメント)

ベンチマークとの差異

当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、見送りとさせていただきます。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円・1万口当たり・税込み)

項目	第16期
	(2019年10月22日～2020年10月20日)
当期分配金	—
(対基準価額比率)	(—%)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,012

- ・「対基準価額比率」は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。
- ・「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<当ファンド>

当ファンドは、引き続きルクセンブルク籍の投資信託証券「オーシャン・ファンド・エクイティーズ・イースタン・ヨーロッパ」と「Amundi Funds キャッシュ・ユーロ」に投資します。ロシア・東欧株式への実質的な投資は「オーシャン・ファンド・エクイティーズ・イースタン・ヨーロッパ」を通じて行い、その組入比率を高位に保ちます。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

<オーシャン・ファンド・エクイティーズ・イースタン・ヨーロッパ>

当ファンドは、ロシア東欧株式市場に対し慎重ながらも前向きな見方をしています。新型コロナウイルス感染への見通しは依然として不透明ながら、基本シナリオとして、感染拡大が今後2四半期のうちにおおむね抑制可能になると想定しています。F R B（米連邦準備理事会）を含む各国・地域の中央銀行および政府の政策は、家計や企業が足元の急激な景気後退を乗り切る一助になると考えています。絶対ベースのバリュエーションはすでに低くはありませんが、グローバルにみると、引き続き魅力的な水準のままです。当ファンドは、新型コロナウイルスが経済および原油価格動向におよぼす影響を引き続き極めて慎重に注視してまいります。国別ではロシアをオーバーウェイトとし、セクター別ではコミュニケーション・サービス、消費関連を選好します。

(アムンディ・アセットマネジメント)

<Amundi Funds キャッシュ・ユーロ>

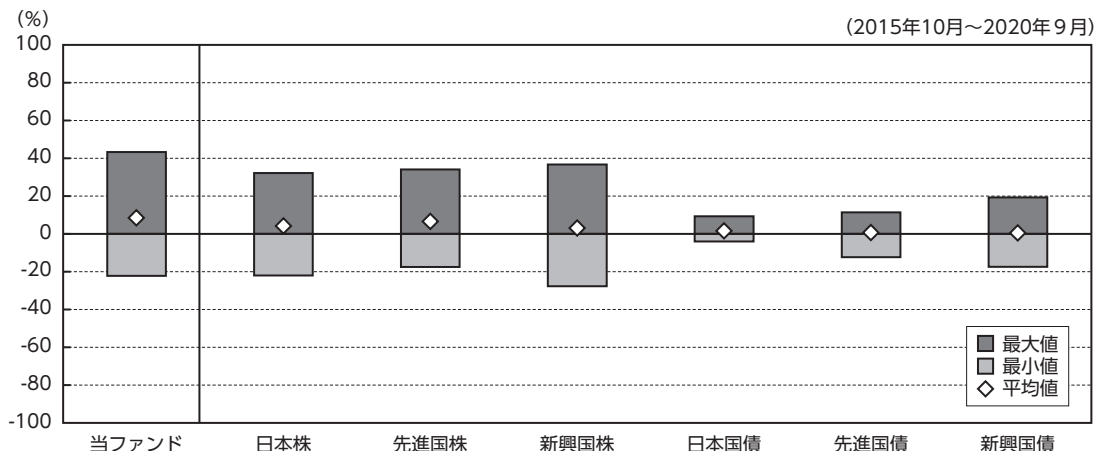
主としてユーロ建の短期金融商品等に投資し、運用資産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目標として運用を行います。

(アムンディ・アセットマネジメント)

ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2005年3月31日から無期限です。	
運用方針	「オーシャン・ファンド・エクイティーズ・イースタン・ヨーロッパ」への投資を通じて、主としてロシア・東欧諸国の企業、またはロシア・東欧諸国で事業展開を行う企業に投資し、長期的な信託財産の成長を目指します。なお、「Amundi Funds キャッシュ・ユーロ」への投資も行います。外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	
主要投資対象	アムンディ・ロシア 東欧株ファンド	オーシャン・ファンド・エクイティーズ・イースタン・ヨーロッパ Amundi Funds キャッシュ・ユーロ
	オーシャン・ファンド・ エクイティーズ・イース タン・ヨーロッパ	ロシア・東欧諸国の企業、またはロシア・東欧諸国で事業展開 を行う企業の株式
	Amundi Funds キャッシュ・ユーロ	ユーロ建短期金融商品等
運用方法	①「オーシャン・ファンド・エクイティーズ・イースタン・ヨーロッパ」への投資を通じて、主としてロシア・東欧諸国の企業、またはロシア・東欧諸国で事業展開を行う企業に投資し、長期的な信託財産の成長を目指します。 ②外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	
分配方針	毎決算時（年1回。原則毎年10月20日。休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。収益分配金額は、委託者が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率

(%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	8.5	4.2	6.6	3.1	1.6	0.7	0.5
最大値	43.3	32.2	34.1	36.7	9.3	11.4	19.3
最小値	-22.2	-22.0	-17.5	-27.7	-4.0	-12.3	-17.4

(注1) 上記は、当ファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注2) 上記は、2015年10月から2020年9月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

- ・全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・当ファンドは、分配金 (税込み) が分配時に再投資されたものとみなして計算した年間騰落率に基づき計算されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
- ・騰落率は直近月末から遡って算出した結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容

組入ファンド

2020年10月20日現在

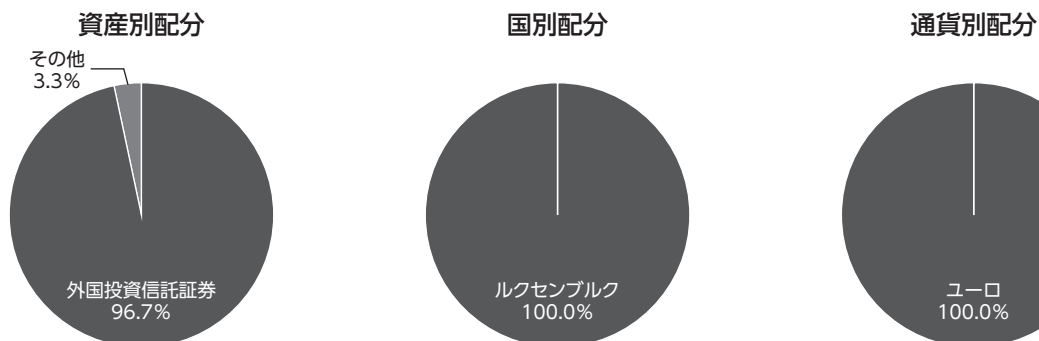
(組入銘柄数：2銘柄)

	銘柄	通貨	比率
1	オーシャン・ファンド・エクイティーズ・イースタン・ヨーロッパ	ユーロ	96.3%
2	Amundi Funds キャッシュ・ユーロ	ユーロ	0.4%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されております。

種別構成



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

純資産等

項目	第16期末 2020年10月20日
純資産総額	3,640,141,585円
受益権総口数	3,846,342,148口
1万口当たり基準価額	9,464円

※当期間（第16期）中における追加設定元本額は520,263,109円、同解約元本額は581,428,907円です。

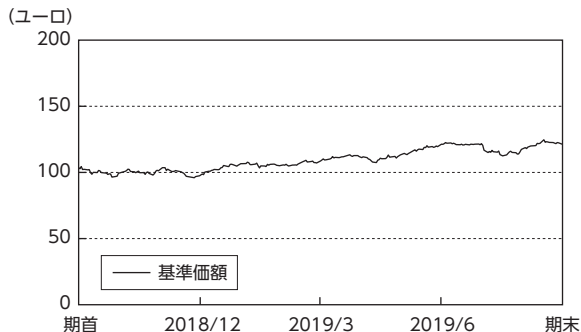
組入ファンドの概要

<オーシャン・ファンド・エクイティーズ・イースタン・ヨーロッパ>

決算日：2019年9月30日

(計算期間：2018年10月1日～2019年9月30日)

基準価額の推移



組入上位10銘柄

2019年9月30日現在

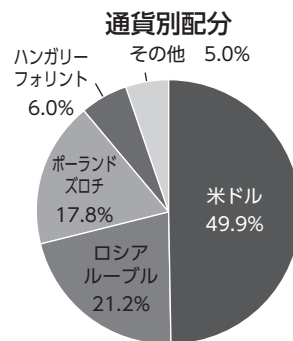
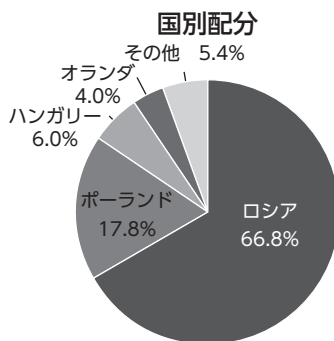
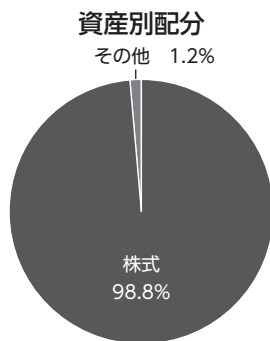
(組入銘柄数：50銘柄)

	銘柄	通貨	発行国	比率
1	NOVATEK OAO-SPONS GDR REG S	米ドル	ロシア	8.3%
2	SBERBANK OF RUSSIA PJSC	米ドル	ロシア	7.6%
3	GAZPROM PJSC	ロシアルーブル	ロシア	7.6%
4	OIL COMPANY LUKOIL ADR 1 SH	米ドル	ロシア	7.5%
5	MINING AND METALLURGICAL COMPANY NORIL SK ADR	米ドル	ロシア	6.6%
6	TATNEFT PJSC PREF SHS	ロシアルーブル	ロシア	4.8%
7	OTP BANK	ハンガリーフォリント	ハンガリー	4.5%
8	PKO BANK POLSKI SA	ポーランドズロチ	ポーランド	4.1%
9	CD PROJEKT S.A.	ポーランドズロチ	ポーランド	3.7%
10	X 5 RETAIL GROUP NV REGS ADR	米ドル	オランダ	3.5%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されております。

種別構成



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 直接投資しているのはファンド(受益権)ですが、その先の投資資産を表示しております。

(注4) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

1万口当たりの費用明細

該当情報の取得ができないため、掲載はしておりません。

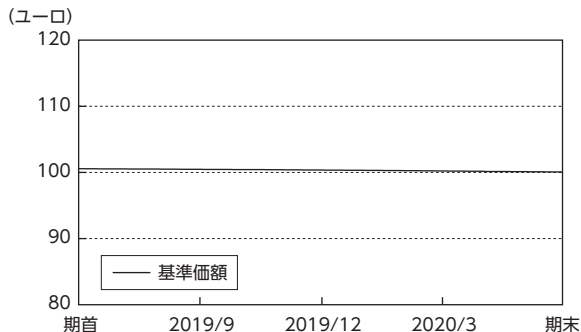
組入ファンドの概要

<Amundi Funds キャッシュ・ユーロ>

決算日：2020年6月30日

(計算期間：2019年7月1日～2020年6月30日)

基準価額の推移



組入上位10銘柄

2020年6月30日現在
(組入銘柄数：77銘柄)

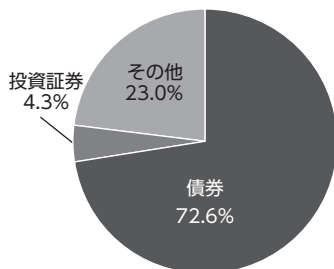
	銘柄	通貨	発行国	比率
1	AMUNDI 3 M FCP	ユーロ	フランス	2.2%
2	CREDIT SUISSE AG CD 07/10/2020	ユーロ	イギリス	2.1%
3	BANQUE FDRATIVE DU CRDT MUTUL OIS+0.30% 07/12/2020	ユーロ	フランス	2.1%
4	LA BANQUE POSTALE OIS+0.165% 31/12/2020	ユーロ	フランス	2.1%
5	ING BANK OIS + 0.17% 08/10/2020	ユーロ	オランダ	2.1%
6	BPCE OIS+0.27% 09/12/2020	ユーロ	フランス	1.8%
7	UNICREDIT SPA ITALIA ZCP 11/09/2020	ユーロ	イギリス	1.8%
8	BNP PARIBAS FORTIS ZCP 11/09/2020	ユーロ	ベルギー	1.8%
9	SNAM SPA ZCP 10/07/2020	ユーロ	イタリア	1.8%
10	CASSA DEPOSITI E PR ZCP 15/09/2020	ユーロ	イタリア	1.8%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

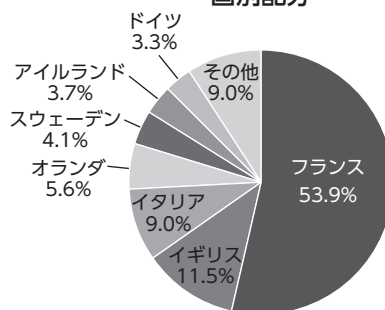
(注2) 全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されております。

種別構成

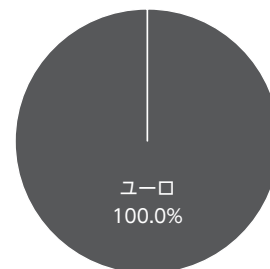
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 直接投資しているのはファンド(受益権)ですが、その先の投資資産を表示しております。

(注4) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

1万口当たりの費用明細

該当情報の取得ができないため、掲載はしていません。

指数に関して

◇「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

• 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) とは、東京証券取引所第一部に上場している全銘柄を対象として算出した指数で、TOPIXの指数値およびTOPIXの商標は東京証券取引所の知的財産であり、同指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利およびTOPIXの商標に関するすべての権利は、東京証券取引所が有します。東京証券取引所は、TOPIXの指数値の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの指数値の算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有します。

• MSCIコクサイ・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

MSCIコクサイ・インデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。

• MSCIエマージング・マーケット・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。

• NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債とは、野村證券株式会社が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。同指数の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。

• FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) とは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

• JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ベース)

JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドとは、J.P.Morgan Securities LLCが算出し公表している、現地通貨建のエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はJ.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

Amundi
ASSET MANAGEMENT
アムンディ アセットマネジメント